

平成27年6月宮古市議会定例会一般質問通告一覧表

(質問順)

質問月日	質問者	質問事項	
6月15日 (月曜日)	12番 須賀原チエ子 議員 (ネクストみやこ)	1 放課後の児童の健全育成について 2 仮設住宅の集約について 3 マイナンバー制度について	P 1 P 2 P 2
	26番 田中 尚 議員 (日本共産党)	1 中心市街地復興拠点施設整備事業について 2 J R山田線(宮古～釜石間)の復旧事業等について 3 県への予算要望について	P 3 P 4 P 4
	25番 藤原 光昭 議員 (新風クラブ)	1 光回線の普及について	P 5
	21番 竹花 邦彦 議員 (新風クラブ)	1 宮古市子ども・子育て支援事業計画に係る市立保育所の適正配置・民間委託について 2 宮古市障がい者福祉計画と放課後デイサービスの課題について	P 6 P 6
	11番 佐々木 重勝 議員 (ネクストみやこ)	1 被災漁港の復旧状況について 2 平成28年度以降の復旧・復興事業について 3 情報通信基盤の整備充実と活用について	P 8 P 8 P 8
6月16日 (火曜日)	24番 茂市 敏之 議員 (復興を考える会)	1 宮古市の子供たちについて 2 宮古市中小企業振興基本条例について	P 10 P 11
	1番 今村 正 議員 (尽政クラブ)	1 市庁舎建設について 2 鋤ヶ崎・光岸地地区土地区画整理事業の仮換地について 3 空家等対策の推進に関する特別措置法の対応について	P 12 P 12 P 12
	5番 白石 雅一 議員 (復興を考える会)	1 学童保育を取り巻く現状とその問題点解消に向けて	P 14
	7番 中島 清吾 議員 (日本共産党)	1 災害公営住宅について 2 住まいの自力再建支援について	P 15 P 15
	10番 北村 進 議員 (新風クラブ)	1 復興道路整備と道の駅について 2 観光振興と国際化について	P 16 P 16

質問月日	質問者	質問事項
6月17日 (水曜日)	14番 橋本 久夫 議員 (ネクストみやこ)	1 文化財の指定、保存及び活用について P18 2 港湾の課題と今後の整備について P18
	22番 松本 尚美 議員 (一新会)	1 カーフェリー航路開設を主体的かつ積極的に P19 2 稼ぐ力を持つ産業を伸ばせ P19 3 産業振興を民間主体で P19
	17番 坂本 悦夫 議員 (新風クラブ)	1 「しごとの創生」に向けた創業支援について P20 2 高齢者の就労支援について P20
	3番 近藤 和也 議員 (ネクストみやこ)	1 宮古を売り込むための商品展開施策について P21
	2番 小島 直也 議員 (公明党)	1 生活困窮者に対する支援策について P23 2 中学校の不登校の問題について P23
6月18日 (木曜日)	9番 内館 勝則 議員 (新風クラブ)	1 空家等対策の推進に関する特別措置法の対応について P24
	20番 落合 久三 議員 (日本共産党)	1 国保会計の深刻な実態を打開するために P25 2 漁業後継者育成事業と魚市場の水揚げ増対策、水産物の六次産業化について P26

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月15日(月)

質問順位 1番

質問者 議席番号 12番 須賀原 チエ子 議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 放課後の児童の健全育成について	<p>少子高齢化が進む現代、子どもたちを大切に健やかに育てることは行政の重要な仕事だと思います。核家族や共働きが増加したことで放課後の子どもたちの安全のために学童保育や児童館の重要性が増しています。</p> <p>そこで、当市の放課後の児童の現状について伺います。</p> <p>① 学童の家の各施設の基準児童数に対し登録児童数が多いところもあります。今年度から小学校6年生まで拡大されましたが、運営に支障がないのか伺います。</p> <p>② 学童の家の児童一人当たりの基準面積は1.65㎡で、どの学童の家も基準を満たしていますが、この基準は各用具が無い状態の基準であり、生活に必要な用具を設置すれば、活発な子どもたちが過ごすには余りにも狭い状態です。もっと広い面積が必要と思いますが見解を伺います。</p> <p>③ 学童の家では部屋数が少なく、子どもが体調の悪い時に休ませる場所もない状態です。スペースの確保が必要と思われませんが、見解を伺います。</p> <p>④ 全国学童保険連絡協議会では、児童20人までは指導員3人以上、21人からは4人以上配置しないと、より良く安全な保育は出来ないと提言していますが、市の見解を伺います。</p> <p>⑤ 放課後児童支援員が都道府県認定資格を取得するための研修制度が始まりましたが、本市の取り組みについて伺います。</p> <p>⑥ 低学年の利用が多い中、トイレの便器の数が不足している学童の家があります。時には、お漏らしをする児童もあると伺いました。児童の心の傷になる可能性もあるので回避させなければなりません。そこで、便器の増設が必要と思いますが見解を伺います。</p> <p>⑦ 田代児童館は築43年が経過し老朽化が進んでいますが、今後の方針を伺います。</p>	

<p>2 仮設住宅の集約について</p>	<p>平成 26 年 3 月議会で仮設住宅の集約について一般質問をしました。その時は校庭を優先して集約させるとの答弁でした。入居者からは不安の声も聞かれます。今後の集約のスケジュールを伺います。</p> <p>また、連帯保証人がいないため、災害公営住宅への入居が出来ない方への支援を、どの様に行うのか伺います。</p>	
<p>3 マイナンバー制度について</p>	<p>平成 27 年 10 月から、住民票を有する国民一人一人に 12 桁のマイナンバー（個人番号）が通知されます。これは国の行政機関や地方公共団体などにおいて、社会保障、税、災害対策の分野で利用されます。</p> <p>しかし、詳しい内容を知っている方は少ないと思います。そこで次のことについて伺います</p> <p>① 市民への周知の方法と運用までのスケジュールを伺います。</p> <p>② 国から情報漏れ等の防止策が示されると思いますが、市民は不安を感じると思います。不安を解消する対策について伺います。</p> <p>③ 運用後に市民が混乱することなく、スムーズに活用できるように、どのような方策を講じるのか伺います。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月15日(月)

質問順位 2番

質問者 議席番号 26番 田中 尚 議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 中心市街地復興拠点施設整備事業について	<p>整備事業の主な目的と見通し、及びその評価について伺う。</p> <p>① まちなか賑わい等中心市街地の活性化が事業の目的と考えるが、基本構想・同計画ともに市がそれにふさわしい内容と判断した根拠を伺う。まず、最初に旧JR用地の取得交渉の経緯内容と取得時期はいつか。</p> <p>② 市民から庁舎の整備場所が興行施設の隣接地は不適との声も聞かれる。解消に向けた交渉経緯はどうか。</p> <p>③ 基本設計が未定だが、交流棟では音楽ホール、各種研修施設など庁舎施設の市民開放と重複する施設が見受けられる。市民文化会館、市民総合体育館など既存施設の活用も可能であり、見直しが必要と思われるがどうか。</p> <p>④ 鉄道の利用促進策が見えないのではJR用地を選定した根拠に欠けるのではないか。</p> <p>⑤ 八幡踏切付近の道路改良も検討されているが、JRおよび三陸鉄道の車両基地利用に支障はないのか。</p> <p>⑥ 洪水浸水地域内であれば、現庁舎用地と差異はなくなる。106号バイパスは豪雨時一時通行止めになる区間でもあるが、その懸念はどう検討されたのか。</p> <p>⑦ 拠点施設と自由通路および駐車場整備は中心市街地より興行施設の収入増加をもたらすことになるのではないか。</p> <p>⑧ 防災・交流拠点施設の整備計画は国の基準をなぞっただけではないのか。整備の必要性を判断する上で、緊急性をどう考えているのか。</p> <p>⑨ 津波復興拠点施設整備事業(交付金)具体化の際、庁内での検討作業はどう行われたか。最初から最後まで、コンサルタント任せになってしまうのではないのか。</p>	

<p>2 JR山田線（宮古～釜石間）の復旧事業等について</p>	<p>① いっこうに工事が行われる気配がないが、どうなっているのか。</p> <p>② 駅を中心としたまちづくりに不可欠な公共交通網の整備及びそれと一体のバス等のダイヤ改善（交通弱者対策）が具体化される時期はいつになるのか。</p> <p>③ 公共交通網の整備課題とその対策はどうか。</p>	
<p>3 県への予算要望について</p>	<p>県立宮古病院の高次、救急・救命機能化への見通しはどうか。この間の県の対応では実現はほど遠いとする。実現に必要な対応を具体化すべきではないか。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月15日(月)

質問順位 3番

質問者 議席番号 25番 藤原光昭議員

質問事項	質問要旨	摘要
1 光回線の普及について	本市の光回線通信サービスの世帯普及率は85%を超えているが、集落が点在している周辺地域については採算面から整備予定はないようである。市民すべてが情報格差のない生活ができるように公的支援を含めて関係事業者と協議し、未整備地区への普及を図るべきと考えるが、どうか伺う。	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月15日(月)

質問順位 4番

質問者 議席番号 21番 竹花邦彦議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
<p>1 宮古市子ども・子育て支援事業計画に係る市立保育所の適正配置・民間委託について</p>	<p>3月策定の宮古市子ども・子育て支援事業計画において「教育・保育施設の適正配置」が盛り込まれ、「公立保育所については民間委託について検討するほか、保育所の適正な配置を図る」とされた。平成28年度には津軽石保育所、平成31年度には花輪保育所の民間委託(指定管理)が計画されている。</p> <p>については、市立保育所の適正配置・民間委託について伺う。</p> <p>(1) 宮古市子ども・子育て支援事業計画(以下、支援事業計画)における「教育・保育施設の適正配置」では、市立保育所の民間委託、適正配置のみの記述となっている。本市の子ども・子育て支援に係る総合的計画である支援事業計画において、市立保育所の民間委託、適正配置を盛り込む必要性があったか疑問でもある。支援事業計画に市立保育所の民間委託(指定管理)を盛り込んだ理由、判断について伺う。</p> <p>(2) 市立保育所の民間委託を行なおうとする理由は何か。また、「適正配置」の意図、目指すものは何か示されたい。</p> <p>(3) 公立保育所の必要性及び果たすべき役割について市長の考え、認識を伺う。</p>	
<p>2 宮古市障がい者福祉計画と放課後デイサービスの課題について</p>	<p>宮古市障がい者福祉計画(第4期)の策定が行われたが、来年度施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)に対応した取り組み推進を盛り込む等の見直しが図られたものと理解をしている。</p> <p>障がい者(児)の課題は「差別」問題にとどまらず、社会参加や自立への環境整備、教育・福祉・労働(雇用)分野での取り組みなど多くの課題を有しているが、ノーマライゼーションの実現という視点から、次の課題について伺う。</p> <p>(1) 障がい者福祉計画(第4期)では、「障がい者理解の促進」が重点的取り組み事項の一つに掲げられている。第4期計画における障がい者理解の促進を図るための具体的取り組みについ</p>	

	て伺う。 (2) 障がい児の放課後の居場所であり、日常生活能力向上の訓練等を行う「放課後等デイサービス」の現状と課題点について市の認識を伺う。	
--	--	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月15日(月)

質問順位 5番

質問者 議席番号 11番 佐々木 重勝 議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 被災漁港の復旧状況について	<p>東日本大震災により、宮古市の基盤事業で重要施設でもある市管理漁港15港全てが被災し、懸命に復旧に取り組んでいるものの、生コン、ポンプ車等の資機材不足、単価高騰、技術者不足、労働者不足及び過密発注などを要因とし、契約中の工事において、その進捗が大幅に遅れているとのことですが、今後の見通しについて伺います。</p> <p>① 全ての工事が完了するのが平成28年度の予定とされていますが、現時点で見通しに変化はないか伺います。</p> <p>② 資機材不足、単価高騰、技術者不足、労働者不足について、依然としてその状況は続いているのか伺います。また、改善の兆しはあるか伺います。</p> <p>③ 工法変更や海中調査の結果、資機材不足等により工事費が増額されていますが、最終的な事業費総額の見通しについて伺います。</p>	
2 平成28年度以降の復旧・復興事業について	<p>漁港の復旧、災害公営住宅、土地区画整理事業など多岐にわたり復旧・復興事業が進められていますが、先ごろ、国から平成28年度以降の復旧・復興事業について地元負担を求める方針が示されました。この方針は、本市の復旧・復興事業に大きな影響を及ぼすとともに、被災自治体の現状を全く理解していない愚策とも言えると思います。</p> <p>国に対し、県や他の被災市町村と連携し、方針の撤回を積極的に求める必要があると思いますが、市の強い決意を持った具体的な見解を求めます。</p>	
3 情報通信基盤の整備充実と活用について	<p>宮古市総合計画において、三陸沿岸地域の拠点都市としての形成のため、「情報通信基盤の充実」が掲げられています。</p> <p>携帯電話の不感地域の解消やFTTH(光ファイバー)の整備は、通信事業者の営利目的とした企業経営理念に基づくものと理解しておりますが、自治体の側面支援により事業を実施し、地域経済の発展や地域活性化など多方面にわたって、その成果を上げている例があると聞いております。</p>	

	<p>そこで次の点について当局の見解を伺います。</p> <ul style="list-style-type: none">① 携帯電話不感地域とF T T Hの未整備地域の解消に向けた具体的な取り組みについて伺います。② 情報通信基盤を活用した、中山間地域又は農村地域の活性化について、どのような考えを持っているのか伺います。③ 情報通信基盤の整備が、人口減少、少子高齢化が進む当市において、若者の定住化促進対策にもなり得るものと思いますが、どのような考えを持っているのか伺います。④ 今後、市民への情報伝達あるいは宮古市自体の知名度及び魅力発信の強化が必要を思いますが、どのような考えを持っているのか伺います。	
--	---	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月16日(火)

質問順位 1番

質問者 議席番号 24番 茂市敏之議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 宮古市の子供たちについて	<p>① 平成27年2月20日、川崎市多摩川河川敷において、中学1年生が殺害されるという、なんとも痛ましい事件が発生した。子供たちの人間関係が大きく変わってきている。本市の状況はどうか。現時点でのいじめと不登校の状況について伺う。</p> <p>② 私は過去に、いじめによる自殺問題で質問した際「道徳の時間に命について深い感動を与える教育をしてほしい」と申し上げた経緯がある。文部科学省では、小学校では3年後、中学校では4年後に道徳を教科化すると発表したが、その内容を見ると、子供たちの自由な発想や行動を押しさえつけることになりはしないかと心配する。</p> <p>もっと命の大切さを道徳の時間に教えてほしいと思うが、教育委員会としてどう考えているのか。また、現場の声としてどのような要望をする考えがあるのか伺う。</p> <p>③ 震災直後、被災地の子供たちに急増したPTSDなどの心の病気は改善傾向にあったが、4年経過した今、別の形で異変を訴えるケースが出ている。子供たちの頑張りや疲れから精神状態が不安定になったり、不登校が相次いでいるとのことである。本市の子供たちをどのように把握し、対応しているのか伺う。</p> <p>④ 厚生労働省によると、2012年の子供の貧困率は16.3%と発表された。6人に1人が貧困ということになる。統計から考えると本市では、小学生406名、中学生240名が貧困の子供と仮定される。</p> <p>本市の就学援助の中の学校給食費の援助は十分なのか。制度の狭間にいる貧困の子供がいるのではないかと心配するが、どのような方法で状況を把握しているのか伺う。また、生活困窮者自立支援事業の対象となる世帯の把握は大丈夫なのか伺う。</p>	

<p>2 宮古市中小企業振興基本条例について</p>	<p>私は、震災により被災した市内中小企業者の方々が復興し発展するまでの間は、宮古市として見守り、育てる必要がある事を痛感し、平成 24 年 12 月に「宮古市中小企業振興基本条例案」を提案した。経済常任委員会等で調査・研究した結果、条例制定に向けては見送るべきとの結論になった。</p> <p>市当局は今年度、宮古市産業立市ビジョンを策定するとしたが、そもそもビジョンとは条例に基づいて策定されるべきものとする。岩手県でも、中小企業振興条例が 3 月議会で議決され、4 月 1 日から施行されている。宮古市でも宮古市に合った条例をビジョン策定前に制定すべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p>	
----------------------------	--	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月16日(火)

質問順位 2番

質問者 議席番号 1番 今村 正議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 市庁舎建設について	<p>合併特例債も市民や国民の借金には変わりはありません。合併特例債は3割が宮古市民に返済の義務があります。今までの決定額82億円に、新庁舎の50億4千万円を足すと132億円を超え、その返還額は毎年1億円となり30年払いですので、55億の市税収入から鑑みるとかなりの負担です。また、資材高騰、人材不足のこの時期ではなく、適切な建設時期、地元の建設業者が施工可能な時期が「必ずや」やってくるものと考えます。</p> <p>また災害の傷跡がまだ残っている状態でアンケートの回収率も4%不足で、宮古市民は取り組む気持ちにない状態です。現在も、応急仮設住宅、みなし仮設等に入居されている方が1,808世帯4,518人おり、この方々の住宅確保が最優先であります。</p> <p>昨年、日本創成会議人口減少問題検討分科会にて発表されました25年後の2040年には、32,166人と推計されています。この時期に6万人規模の庁舎の建設が喫緊の課題でしょうか。</p> <p>以前の議会でも発言しましたが、市庁舎建設の賛否を住民投票にて確認すべきと考えますが、見解を伺います。</p>	
2 鉾ヶ崎・光岸地区土地区画整理事業の仮換地について	<p>区画整理事業の仮換地にあたり、登記簿地積と実測面積に大きな差異が生じている事例があります。</p> <p>このことについて、当初、登記簿のデータを基準地積とした時に、このような差異が生じることを予想できなかったのか伺います。</p> <p>また、同様の事例で未解決となっているものがあるのか伺います。</p>	
3 空家等対策の推進に関する特別措置法の対応について	<p>空家等対策の推進に関する特別措置法が5月26日から完全施行されました。空き家を減らして土地や建物の有効利用を進めようとする法律で、今年2月に一部施行されました。5月26日からは、倒壊や衛生上の問題などがある「特定空き家」を自治体が決め、除去や修繕の指導、勧告、命令をする仕組みが動き出します。勧告に従わないと、住宅が</p>	

	<p>建つ土地への固定資産税の優遇措置がなくなり増税になります。命令に従わないと、自治体による強制撤去も可能になるとのことです。</p> <p>これらについての宮古市の対策、見通しを伺います。</p>	
--	--	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月16日(火)

質問順位 3番

質問者 議席番号 5番 白石雅一議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 学童保育を取り巻く現状とその問題点解消に向けて	<p>東日本大震災から4年が経過し、この間の復興まちづくりなどで、保護者と学童保育を取り巻く環境は大きく様変わりしました。</p> <p>そこで、この学童保育の現状とその問題点解消に向けて、以下のことを伺います。</p> <p>① 学童の家、児童館への入館を検討している児童や保護者の実態をどのように捉えているのか伺います。</p> <p>また、学童の家、児童館に通っている児童や保護者の実態については、どのように捉えているのか伺います。</p> <p>② 平成26年に行った、学童保育利用者アンケートの結果をどのように捉えているのか伺います。</p> <p>③ 本年4月より入館対象が小学6年生まで拡大されましたが、どのような影響が出ているのか伺います。</p> <p>④ 宮古市学童の家には障がい児受け入れに関する協定書はありますが、震災の影響で心に傷を受けた子どもたちへの対応はどのようにしているのか伺います。</p> <p>⑤ 地域や保護者、事業者の実情に合わせた事業所ごとの協定書の策定が早急に必要と感ずますが、どのように考えているのか伺います。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月16日(火)

質問順位 4番

質問者 議席番号 7番 中島清吾議員

質問事項	質問要旨	摘要
1 災害公営住宅について	1 災害公営住宅の家賃軽減策について、さらに周知を図るべきではないか伺います。 2 災害公営住宅内に設けられている駐車場について、共有で使用できる駐車スペースを設ける考えはないか伺います。	
2 住まいの自力再建支援について	被災住宅補修等補給金について、全ての方々が利子補給を受けることが可能なわけではないということで、融資が受けられない65歳以上の方々からは不公平との声もあります。利子補給ではなく、一律支援金として支給する考えはないのか伺います。	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月16日(火)

質問順位 5番

質問者 議席番号 10番 北村 進議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 復興道路整備と道の駅について	<p>宮古市総合計画後期基本計画が3月に作成された。第2章活力に満ちた産業振興都市づくり、第6観光の振興の施策の方向において、「外国人観光客にも対応した既存観光関連施設の充実と新たな観光資源の掘り起こしなどを行い、受入体制を整備する」「イベントの開催を支援するなど地域観光資源の活用を図る」「インターネットを活用して、観光情報の発信力を強化する」としている。</p> <p>また、課題として「三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路、国道340号などの整備に伴い、既存観光施設の配置等について検討が必要」としている。</p> <p>具体的には、道路整備によって影響を受ける「道の駅区界高原」や、新たにつくられる新「道の駅たろう」、小国、江繋地区の地域振興策のひとつとして、道の駅新設が検討課題と認識する。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 「道の駅区界高原」の将来の見通しについて伺う。</p> <p>(2) 立丸トンネル開通後の国道340号沿いに道の駅設置の構想はあるのか伺う。</p> <p>(3) 新「道の駅たろう」基本構想が4月末に示されたが、次の点について伺う。</p> <p>① 新設にあたり、復興事業費の地元負担の影響は予想されるのか伺う。</p> <p>② 三陸ジオパークのゲートウェイ新「道の駅たろう」コンセプトのひとつ、産業振興・漁業の復興、新たな観光創出とあるが、どのような内容か伺う。</p> <p>③ 学ぶ防災の「防災エコミュージアム」の具体的内容を伺う。</p> <p>④ 構想では施設の多くが指定管理と業務委託となっている。指定管理委託先をグリーンピア三陸みやこと想定しているとのことだが、根拠は何か伺う。</p>	
2 観光振興と国際化について	<p>日本へ観光に訪れる外国人観光客の数が2014年過去最高の1,300万人を超え、2015年はさらに増加の予測で1,700万人としている。そこで次の点</p>	

	<p>について伺う。</p> <p>(1) 国際的窓口となる国際交流協会が未だ設立されていない。設立を急ぐべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 市民生活の利便性の向上を図るとともに、交流人口の拡大施策、外国人観光客の受入体制整備のひとつとして Wi-Fi (無線 LAN) を観光施設に整備すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 宮古市の魅力の発信として、小田原市の観光推進協議会が開催しているブLOGGERコンテストの宮古版の開催を提案するが見解を伺う。</p>	
--	--	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月17日(水)

質問順位 1番

質問者 議席番号 14番 橋本久夫議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 文化財の指定、保存及び活用について	<p>貴重な文化財を幅広く後世に残し、歴史と文化の香る個性豊かな地域づくりを行うための文化財保護に関し、次のことを伺う。</p> <p>① 指定文化財及び登録文化財の管理はどのようになされているのか伺う。</p> <p>② 本市には「亀ヶ森の一本桜」「昭和初期に建設された宮古教会」「常安寺の地獄絵図」、その他歴史的古文書や工芸品等あるが、新たな文化財指定の取り組みがあるのか伺う。</p> <p>③ 文化財等を中心とした「(仮称)旅する宮古学」の観光ルートを策定すべきと思うが、見解を伺う。</p> <p>④ 宮古港開港400周年を機に、市街地の既存施設を活用した、歴史文化資料の常設展示施設を設置すべきと思うが、見解を伺う。</p> <p>⑤ 様々な歴史文化記念日を設けるべきと思うが、見解を伺う。</p>	
2 港湾の課題と今後の整備について	<p>① 開港400周年で各種船舶が入港する藤原ふ頭内の復旧状況、及びフェリ一定期航路開設に向けての今後の課題は何か伺う。</p> <p>② 市民が港を間近に感じられるみなとまちづくりとしての藤原ふ頭内の公園整備やウォーターフロント的機能整備検討の考えはないか伺う。</p> <p>③ 失われていく湾内の砂浜に対し、ふ頭内に市民の親水域としての人工海浜整備が必要ではないかと考える。海釣り公園などの整備の考えはないか伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月17日(水)

質問順位 2番

質問者 議席番号 22番 松本尚美議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 カーフェリー航路開設を主体的かつ積極的に	<p>宮古港と室蘭港を結ぶフェリー航路の開設は、本市にとって想定外の震災復興リーディングプロジェクトとなり得るものと考えます。</p> <p>施設整備等について、1日も早く調整事業を実施すべきと考えます。県に100%依存すべきでなく、市も主体的かつ積極的に取り組まなければ、絵に書いた餅になってしまいます。</p> <p>3年という期間はあっという間に過ぎてしまいます。</p> <p>市長の決意と具体的な進め方、取り組みについて伺います。</p>	
2 稼ぐ力を持つ産業を伸ばせ	<p>地方創生において、「稼ぐ力を持つ産業を伸ばせ」と強く提言しているのは、岡山大学の中村教授であります。中村教授は、まちの経済構造の精微な分析をもとに、総合戦略プランを策定することが必要と説いています。全く同感であります。私は以前に戦略計画を策定するにあたり、現状の統計的数値をしっかりと押さえる必要があると指摘させていただきました。中村教授の指摘は、私よりもはるかに説得力があるものであります。</p> <p>市長は、どのような認識で宮古市創生の具体的戦略プラン、施策をまとめようとしているのか伺います。</p>	
3 産業振興を民間主体で	<p>産業、経済振興は、地域にとって最大の課題の一つであります。現在まで、市長をトップとする行政が施策をまとめ、財源の手当てをし、実施していますが、民間事業者等は常に受け身の状況であります。対等としながらも、上下、主従の立ち位置は変化が感じられません。産業、経済活動を主体的に推進しなければならないのは、民間事業者であり、生産者であります。行政コストやマンパワーの確保等を考えると、民間組織にシフトすべきと考えますが、市長の見解を伺います。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月17日(水)

質問順位 3番

質問者 議席番号 17番 坂本悦夫議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 「しごとの創生」に向けた創業支援について	<p>昨年12月、地方創生に向けた「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、今後5年間の目標や施策を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略(総合戦略)」が示されました。</p> <p>総合戦略の基本目標の最初に「地方における安定した雇用を創出する」と掲げられており、地方に仕事をつくり、安心して働けるようにするための「しごと創生」が重視されているものと思います。</p> <p>地方創生を実現するためには、起業しやすい環境を整え、起業のうねりを起こすことが必要と考えることから、次の点について伺います。</p> <p>① 本市の産業振興において、雇用の創出は重要な課題ではありますが、その中でも「創業支援」はどのように位置づけられてきたのか伺います。</p> <p>② 国の総合戦略の主な施策として「包括的創業支援」とあり、国においても創業支援に重点が置かれていますが、本市の総合戦略策定にあたり、どのような方針で取り組んでいくのか伺います。</p> <p>③ 創業支援の重点項目のひとつとして、女性に特化した支援も検討すべきと思いますが、見解を伺います。</p>	
2 高齢者の就労支援について	<p>現在の人口減少社会において、経済構造を維持していくためには、若い人材の強化や女性の就労促進だけでなく、高齢者の経験や知識を活かすことも不可欠だと思います。</p> <p>高齢者ビジネスが成立するための仕組みやサポートするシステムをつくることも重要だと思いますが、まず、取り組むべきことは、シルバー人材センターの職業紹介事業を改善・強化し、高齢者をサポートすべきと思いますが、見解を伺います。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月17日(水)

質問順位 4番

質問者 議席番号 3番 近藤和也議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 宮古を売り込むための商品展開施策について	<p>現在、宮古市では独自の政策として、次の事業を3本柱と位置づけて実施しています。一つ目は6次産業やニュービジネスの創出として生産力の向上や連携強化、人材育成などに活用できる上限50万円の「宮古市産業振興補助金」、二つ目はその中でも特に商品開発に焦点を当てた上限20万円の「新商品開発&既存商品ブラッシュアップ」補助金、最後に販路拡大として展示会等への出店にかかる費用を補助する上限20万円の「展示会等出店者支援補助金」と、この3事業で市内の事業者を支えています。</p> <p>問題は、この先この商品が宮古ブランドとして定着していけるのかどうかです。また、PRの方法を考えていくべきだと思います。例えば宮古港開港400周年の各種イベントにおいて、商品に400周年のシールを貼るなどして販売してもらうというのも、宮古市をPRする方法ではないかと思います。これは事業者の利益を考えて行うものではなく、あくまで宮古市自体を売り込むこと、観光につなげること、ブランド化などを念頭に入れたものです。当然、事業者の利益が向上すれば雇用も増え定住化にもつながりますし、宮古ブランドとして定着すれば、それを核に様々な事業の展開が期待できます。</p> <p>そこで、次の3点お伺います。</p> <p>① 3本柱の補助事業の今後の展開についてどのように考えているのか伺います。</p> <p>② あくまで商品は一企業の利益につながるものではありませんが、全国を見れば、それらの中にはご当地の商品として地域のPRに大きく寄与するものもあります。新商品開発の結果、宮古市としてブランド化などにつなげ、PRしていく必要があると思いますが見解を伺います。</p> <p>③ 「二地域就労プロジェクト」という熊本県天草市が進めているプロジェクトがあります。これは地域の良いものを企業とマッチングし、新たな価値を作り出し雇用の創出や交流人口の拡</p>	

	大につなげるというものです。大学との連携など本市でもこのような事業を創出するべきと思いますが見解を伺います。	
--	--	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月17日(水)

質問順位 5番

質問者 議席番号 2番 小島直也議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 生活困窮者に対する支援策について	<p>4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、本市でも総合相談窓口が設置されたことと思います。</p> <p>この制度の周知を図ることはもちろんですが、知ってはいても相談窓口に行くことをためらっている方や、ひきこもりなど、外に出ることが難しい方もいると思われま。そこで、困窮者の早期発見、早期支援のためには、相談希望者に対する訪問支援が必要ではないかと考えますが、見解を伺います。</p> <p>市民が安心して暮らせるよう、相談者の悩み解消のため、出口が見えるまで、切れ目のないサービスの提供が必要と思いますが、具体的な取り組みについて伺います。</p>	
2 中学校の不登校の問題について	<p>文部科学省が昨年発表した「学校基本調査」によると、最近5年間減少傾向にあった小、中学校の不登校の児童生徒数が、平成25年度に6年ぶりに増加したとのこと。市の中学校においても、40数名いると聞きました。様々なことが原因となって不登校になることと思います。いじめが原因で通えなくなった生徒の、学力の低下も心配です。この問題をどのような教育理念で、乗り越えていこうとしているのか伺います。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月18日(木)

質問順位 1番

質問者 議席番号 9番 内 館 勝 則 議 員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 空家等対策の推進に関する特別措置法の対応について	<p>空家等対策の推進に関する特別措置法は、昨年11月に成立し、本年2月26日に一部施行、同年5月26日に全面施行された。</p> <p>私は、空き家対策については、25年9月議会と26年3月議会の二度にわたって取り上げてきた。</p> <p>そこで、これまでの経過も踏まえ、市が空き家対策に取り組むという前提で、次の点について伺う。</p> <p>(1) 本市の空き家の実態について、市は問題が顕著になっていないとの理由で調査把握や検討をされておらず、空き家対策特別措置法法案の動向も注視しながら対応するという消極的な答弁をいただいたが、その後の実態把握とその対策について伺う。</p> <p>(2) 埼玉県所沢市が全国に先駆けて「空き家等の適正管理に関する条例」を制定し、全国でも400超の自治体で所有者に適正な管理を促す条例を制定する動きが顕著になってきたが、本市における条例制定の考え方について伺う。</p> <p>(3) 空き家対策の体制について、市民からの苦情に対する市の対応(相談窓口のワンストップ化)について伺う。</p> <p>(4) 空き家等に関するデータベースを整備する考えはないか伺う。</p> <p>(5) 定住対策の観点からの「空き家バンク」の考え方と空き家の有効活用支援策、課題について伺う。</p> <p>(6) 空き家対策計画作成にあたっての協議会の設置等についての考え方について伺う。</p> <p>(7) 空き家対策を進めるうえで、財源など国県の支援策の活用について伺う。</p> <p>(8) 放置すれば倒壊の危険や既に崩落して危険な家屋について代行執行で撤去するなどの措置を検討されているか伺う。</p> <p>(9) 特定空き家の判断基準や是正措置等のガイドラインについて伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 6月18日(木)

質問順位 2番

質問者 議席番号 20番 落合久三議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 国保会計の深刻な実態を打開するために	<p>5月27日、国会で医療保険制度改悪案が議決された。なかでも国保会計の困難、深刻さを「国保の都道府県化＝広域化」で解消するとしているがその処方箋は逆に国保会計の現状をいっそう深刻なものにすると思う。この国の「国保の広域化」の流れを踏まえて以下の点を質問する。</p> <p>(1) 国保会計の深刻さの要因は国庫負担の大幅削減と加入者の無職化拡大、貧困化の増大にあると思うが市長の認識を伺う。</p> <p>(2) 全国知事会は「国庫負担を1兆円増やす」ことを国に強く要請しているが、市長はこれをどう受け止めているのか伺う。</p> <p>(3) 宮古市は国保税の滞納者に対し資格証明証を13世帯に、短期証明証を423世帯(いずれも平成27年2月)に発行している。「国保税収納率向上」がその主旨であったが、発足時から今日までの収納率はほとんど変化がないと認識している。であれば見直すべきだと思うがどうか伺う。</p> <p>(4) 国保税滞納処分は(平成25年度)延べ差押え数で320世帯、差押え金額8,686万円と県内14市の中でも非常に多い。そこで、①納税の前提は、納税の重要性の徹底と困難を抱える方への丁寧な相談、また「分納」への誘導などである。差押えは悪質な滞納者(納入できる資力をもっているのに納めない)に限定すべきものと思うが、市の差押えの基準、判断は何か伺う。②差押え物件に預貯金、給与、不動産、動産、積立金などが示されている。これらを差押えるることにより「生活が著しく困窮する恐れがある場合」は滞納処分の停止ができるが、その例はあるのか。また「生活が困窮する場合」という状況をどう認識しているのか伺う。</p> <p>(5) 財産差押えに至る前に「個別に相談」「ぬくもりのある対応」を徹底し、生活困窮者は国保税減免条例にもとづく軽減、減免に誘導すべきだと思うがどうか伺う。</p>	

<p>2 漁業後継者育成事業と魚市場の水揚げ増対策、水産物の六次産業化について</p>	<p>漁業水産業振興は宮古市の中心的課題の一つであり、大震災からの復興を推進し支える柱でもある。以下の点について質問する。</p> <p>(1) 漁業後継者育成事業を全県に先駆けて推進しているが、この対象を漁船漁業への拡大を含め検討すべき時期を迎えていると思うがどうか。具体的には宮古3漁協内の「小船組合」等と協議を行うべきと思うがどうか伺う。</p> <p>(2) 魚市場の拡張工事がこれから本格化するが、水揚げ増大を図ることは極めて重要である。端的に質問するがサンマの水揚げにターゲットをしぼり、その推進を図るべきだと思うがどうか伺う。</p> <p>(3) 宮古魚市場へのスケソウの水揚げは5,000トンから7,500トンと安定しているが、これに付加価値を高める加工品の開発、例えば「練り製品の開発・製造」は大きな効果を生むと思う。また内外の練り製品加工会社との提携も重要だと思う。それらを誘導する施策の展開について伺う。</p>	
---	--	--